

広報 ほうじょう

町の人口	
(昭和61年9月30日)	
男	3,977 (0)
女	4,397 (- 4)
計	8,374 (- 4)
世帯数	2,756 (+ 6)

敬老会開催 最高令者は長井ヨシノ(97才)さん



!! 暴力追放はみんなの手で!! 「小さなことでも一一〇番」

昭和61年度の敬老会が9月15日敬老の日に行われ、午前10時には会場の町民体育館はお年寄たちでいっぱいになりました。

今年の該当者は919名です。

まずあいさつの中で中島町長は「町制施行が昭和31年、今年で30周年を迎える、本来ならば町をあげてお祝いがたいが国の許可がないとそれもできない、それでも何とかしたいと今研究中である。

また、産炭地、産炭地といってきたが、国の方では通らなくなってきたが、何らかの形で方城町の振興を図り、楽しい暮らしの出来るすばらしい町にしなければならぬと思う」とあいさつ、続いて記念品贈呈が行われ、県知事記念品贈呈では156名が贈呈を受け、町長記念品贈呈、社会福祉協議会祝金及の記念品贈呈が行われました。

主な受賞者は次のとおりです。

- 夫婦最高令者 小野鶴松 92才 小野ヒチ子 83才
- 最高令者 長井ヨシノ 97才

(敬称略)

来賓祝辞で原田議長は「高令者が多くなっている。福祉行政に力を入れなければならないと思っいるが、方城町は再建団体で何かと不自由をおかけしている。皆さん方には少しでも元気に毎日を通していただき、また来年もこの会場にご参集ください」とあいさつ。

式典の最後をかざる謝辞では、

老人会会長の永末義雄さんが、「方城町は財政の苦しい中で我々のためにこういう催しを開催していただいて感謝している。我々も刺激をさせていただいて、ボケないよううにがんばりたい」とあいさつ。

演芸の部では中古門支部の舞踊「まつり」を皮切りに13支部(方城町婦人会)のすばらしい踊りが行われ、お年寄たちは、楽しい一日を過ごしました。



十月のこよみと行事

- 1日 共同募金運動(〜12月31日)
- 〃 輸入拡大月間
- 9日 心配ごと相談日
- 10日 体育の日 目の愛護デー
- 14日 鉄道記念日
- 18日 統計の日

第十六回町民運動会 野添常会が優勝

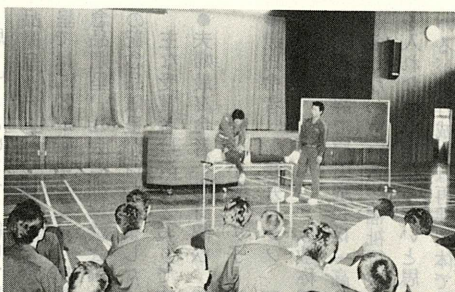


走 競 で か む

どんよりと雲がおおいかぶさり雨が心配された9月14日、第16回町民運動会が32常会参加のもとに開催され、野添常会が優勝旗を手に収めました。

この日、町民グラウンドに午前8時30分に選手たちは集合し、まず優勝旗の返還、続いて大会実行委員長あいさつ、審判長から競技上の注意事項についての説明があり、いよいよ競技が開始されました。心配された空模様はだんだん快方にむかい、絶好の運動会日和になりました。息づまる熱戦の対抗競技との合間には、なごやかにオープン競技が行われました。今年の運動会の特色として、オープン競技に新種目をとり入れ運動会を一段と盛りあげました。中間得点で二位の野添常会が、その後の競技でがんばり、総合得点59点で二位の宝珠常会に1点差で優勝旗を手中に収めました。

田川郡消防団員教養及び訓練 ―方城町で開催―



人形にて心臓マッサージ

田川郡一般消防団員教養及び訓練を、9月28日午前9時から方城町民グラウンド及び町民体育館で行いました。消防団員は火災、及び災害発生時に本来の業務を投げうって、地域の人々の安全を守るため、あえて危険な任務に当たっています。主に新入団員を対象として毎年一回開催していますが、今年は方城町で開催、田川郡9カ町村の消防団員100名が町民グラウンドに集合しました。地元町長の中島町長、消防組合の

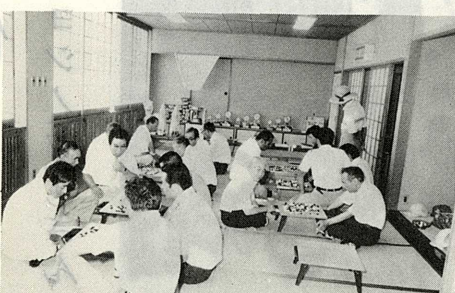
立野消防長、及び消防協会田川郡

支部長の西村支部長からそれぞれあいさつが行われましたが、西村支部長は「訓練は一生懸命にキビキビとしてほしい、だからだらして」と何回でも、出来るまで行う」と力強くあいさつ。続いて、田川地区消防組合金田分署の「永井分署他2名」の教官による訓練式が行われ、約50分で実技の部は終了し、次に町民体育館で教養(学科)の部に入りました。一般教養及び防災映画、救急、応急処置法実演(人形による人口呼吸、及び心臓マッサージ)等、消防団員として身につけたいものばかりの講義に、一生懸命耳を傾けていました。

第三十三回町民囲碁大会開催 ―囲碁を通じて親睦の和を広める―

8月31日、中央公民館和室において、町民囲碁大会を開催しました。

この大会は、囲碁の向上及び囲碁を通じて親睦を図ろうという趣旨のもとに始められたもので今回



ねえそきこえて音がパチリパチリ

で33回目を迎えます。この日午前10時には、町内の囲碁ファンが30名集合しました。まず前回優勝者の優勝カップの返還続いて対戦ルールの説明の後、A級(有段者)B級(1級〜5級)C級(6級以下)と3ブロックに分かれていよいよ対局が開始され

- 熱戦が展開されました。成績は次のとおりです。
- A級
 - 優勝 水上時崇
 - 二位 中島義博
 - 三位 亀田春人
 - B級
 - 優勝 仲島憲彦
 - 二位 勝木高治
 - 三位 葛原直文
 - C級
 - 優勝 和田萬雄
 - 二位 中山権治
 - 三位 斉藤輝男
- 副賞(敬称略)



式 訓 練 員 の 団 防

お互いの人権を尊重し、差別のまじりこみなく

方城町行政改革に対する答申について

方城町行政改革推進委員会(勝木一朗会長)は、昭和60年10月、町長から町行政全般にわたる制度及び運営について、改善方策に関する意見を求められ、5カ月間、8回にわたり具体的な検討を行い、精神的に審議を重ね、次のとおり答申した。

行政改革の理念と基本方針

本町における行政改革の課題はそのいずれをとっても容易に達成できるものではないが、次の確固とした理念を基礎におき、それに支えられることよって達成されるものと確信する。

行政改革の理念として「町民のための町民による行政改革である」方城町の行政は方城町民のためにある。

したがって、町の行政改革は、何よりもまず町民にとって、町行政の存在根拠を明確にし、町民に対して果たすべき任務と役割を自覚することから始めなければならない。

町民の多様な行政要求に、適正かつ効率的に対応し、高度な満足度をより少ない費用負担によって実現していくことにある。

行政改革の基本方針

「最小の経費で最大の効果を挙げる」ことは地方公共団体に課された業務であり、行政運営の基本である。この基本原則に基づき、現下の町行政を取りまく厳しい環境を踏まえて、行政全般についてたえず見直しを行うべきである。



与授書答へ町長から会長勝木

重要な課題である。地方行政の重点事項

一、事務事業の見直し

事務事業の見直しに当たっては時代への即応性、必要性、行政効果、効率性からの観点から町民サービスの向上を図る上から、処理方法の改善を常に配慮する必要がある。

【提言】

- (1) 町の貸し付けた土地、施設等の使用料については、借り受けた企業からの使用料を契約書に基づき徴収すべきである。
- (2) 手数料は地方公共団体手数料令によるものはその額とし、それ以外のものは公正妥当な料金を徴収すること。
- (3) 方城町及び方城町土地開発公社所有の売却資産(東長浦団地、岩留団地)売却処分については再建計画に大きく左右されるので、その処置について早急に検討すること。
- (4) 迫団地の土地代金70,317,934円については早急に回収すること。
- (5) 旧三菱の町払い下げ土地及び社有地については早急に問題解決すること。
- (6) 住宅新築、改修資金等貸付金の長期滞納の回収率は、59年度41パーセント歳入欠陥分6,563,400円を一般会計から繰り出している状態であり、町財政を大きく圧迫している要因となっているので

徴収率を上げるよう手段を講ずるべきである。

(7) 補助金、分担金等についてはその効果等を十分検討し、前年度を上回らないよう削減に努めることが望ましい。

二、組織、機構の簡素合理化

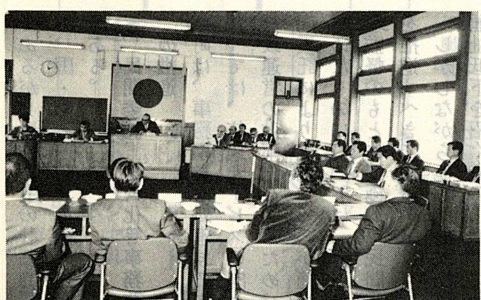
町の行政組織は、国・県の縦制行政を反映して細分化が進み、町民要求の多様化によって専門部分化し、組織の硬直化が進み横の連携が欠け、行政の円滑な推進を妨げられている面がないとはいえない。

【提言】

- (1) 機構の簡素合理化のため各課室の機構の見直しを検討すべきである。
- (2) 農業振興については、方城町将来の発展に必要であるが、農業振興研究班は早急に廃止すべきである。
- (3) 課(案)の簡素効率化については、小規模組織(課・室)の統合類似業務の一元化等の観点から見直しを図り、統廃合等の可能性について検討されたい。

三、給与の適正化

本町給与の諸制度については、



議 審 改 行

行政改革の理念として「町民のための町民による行政改革である」方城町の行政は方城町民のためにある。

したがって、町の行政改革は、何よりもまず町民にとって、町行政の存在根拠を明確にし、町民に対して果たすべき任務と役割を自覚することから始めなければならない。

町民の多様な行政要求に、適正かつ効率的に対応し、高度な満足度をより少ない費用負担によって実現していくことにある。